

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2 男女共同参画の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 男女共同参画室長 塩治 朋江 電話番号 0852-22-5243

事務事業の名称	関係団体等との連携による男女共同参画推進事業	
目的	(1) 対象	関係団体等
	(2) 意図	連携して社会のあらゆる分野における男女共同参画の推進に取り組む。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の推進に係る総合的な施策等を審議し、意見を聴取するための審議会を開催する。</li> <li>県と各団体における取り組みに係る情報交換、意見交換を行い、今後の施策展開に生かすことを目的とした会議を開催する。</li> <li>市町村における取り組みの推進を図るため、市町村担当課への情報提供、意見交換のための会議を開催する。</li> </ul>	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		69.00	71.00	73.00	75.00	
式・定義	県民世論調査		実績値	66.90	71.60	69.00	73.40		%
			達成率		103.80	97.20	100.60		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	440	1,150
うち一般財源(千円)	440	1,150

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合は73.4%で23年度以降最も高く、目標値の73.0%も上回っている。また、内閣府が平成26年度に行った全国調査による数値（49.4%）をも大きく上回っている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・男女共同参画審議会における審議を反映させた第2次男女共同参画計画（H23～H27）に基づく各施策の実施により、固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合は増加している。  
 ・県内20市町村からの推薦により、130名以上の方に男女共同参画サポーターを委嘱している。  
 ・企業トップセミナー、職場で学ぶライフマネジメント講座など、経済団体、企業との連携・協力により、個人や地域のみならず、企業・団体を対象とした啓発の機会も増えている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・男女共同参画への理解は進んでいるが、一部の人たちには依然として固定的な性別役割分担へのこだわりが残っている。  
 ・家庭において、食事のしたくやかたづけ、掃除などは依然として妻が担う仕事となっている。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）

②困っている状況が発生している「原因」

・男女とも、高齢層においては他の年代よりも固定的性別役割分担意識を否定する割合が低い。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）

③原因を解消するための「課題」

・家庭、地域、職場など、あらゆる分野における男女共同参画を推進していくことが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・それぞれの地域の実情に合った普及・啓発が進むよう、引き続き市町村や男女共同参画サポーターとの情報共有や意見交換を行うとともに、（公財）しまね女性センターとの連携のもと、市町村への出前講座やサポーター養成講座を継続実施していく。  
 ・企業や団体等において男女共同参画の視点に基づいた自発的な取り組みが進むよう、引き続き各種会議等においての情報提供に努めるほか、関係団体等との協力・連携を深め、啓発講座等への積極的な参加や開催を働きかけていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）